

取扱説明書 Ver 1.00

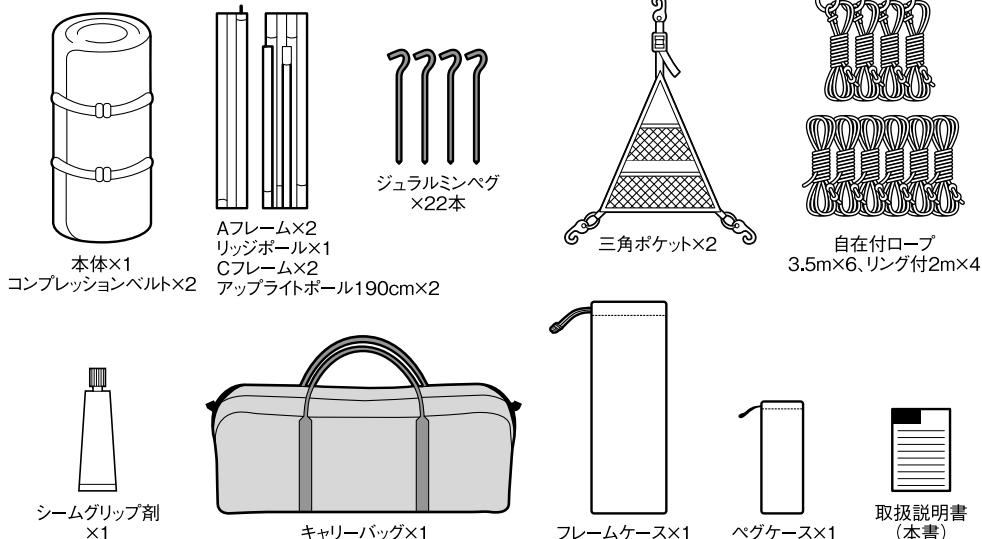
TP-240

# リビングシェルS



このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はキャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

## ■ セット内容



セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。

## 取扱上の注意

**⚠ 危険** 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などの恐れがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



**⚠ 警告** 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりシェルター内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



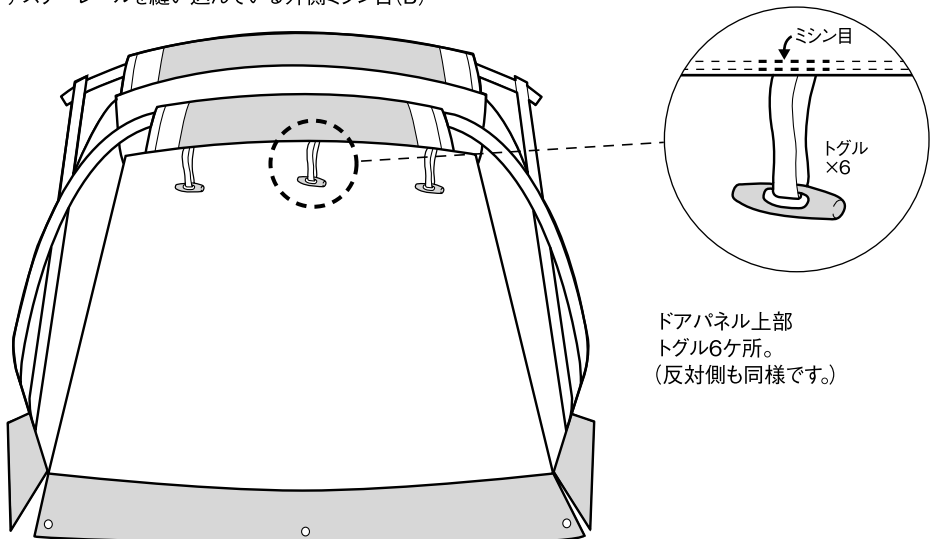
**⚠ 注意** ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地には穴をあけてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかり支えて作業してください。フレーム先端のハネ返り等で思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ベグとロープでしっかりとシェルターを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 足もとのロープやビルディングテープ、ベグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。

## 初めてお使いになる前に

- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の不足があった場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
  - 縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、ドアパネルや窓のファスナー部分、テープを縫い付けた部分など、製造の都合上、あるいは構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分に対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨の時などは、縫い目から雨水が侵入することがあります。ご購入時はシーリング加工が施してありません。あらかじめ付属のシームグリップ剤を縫い目に沿って、表と裏から塗布してからお使いください。
- 下記の箇所は製品構造上シーム処理ができないため、水が浸水する可能性があります。下記の箇所および浸水が確認された箇所のミシン目に表と裏からシームグリップ剤を塗布して糸目からの水の侵入を防いでください。

1. ループやトグルを縫いとめているミシン目(A)
2. ファスナーレールを縫い込んでいる外側ミシン目(B)



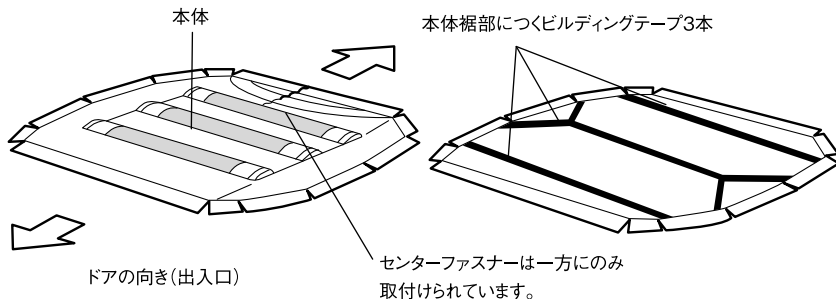
リビングシェルS 入り口

## 設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

設営・撤収は以下の説明に従いキャンプ前に繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。  
無理な設営・撤収は本体やフレームの破損や事故の原因になります。

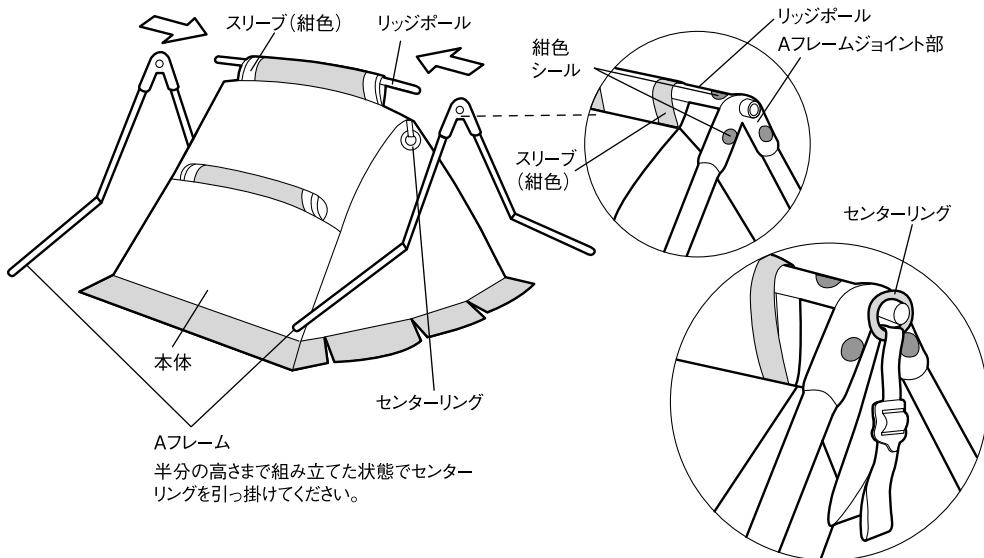
① シェルターを設営する平坦な場所に広げます。このとき、2つある出入口用ドアパネルの向きや、センターファスナー(テントドッキング用)の向きを考慮してください。

注) 3本のビルディングテープすべてがバックルで接続されていることを確認してください。バックルが外れている場合は、設営前に必ず接続してください。



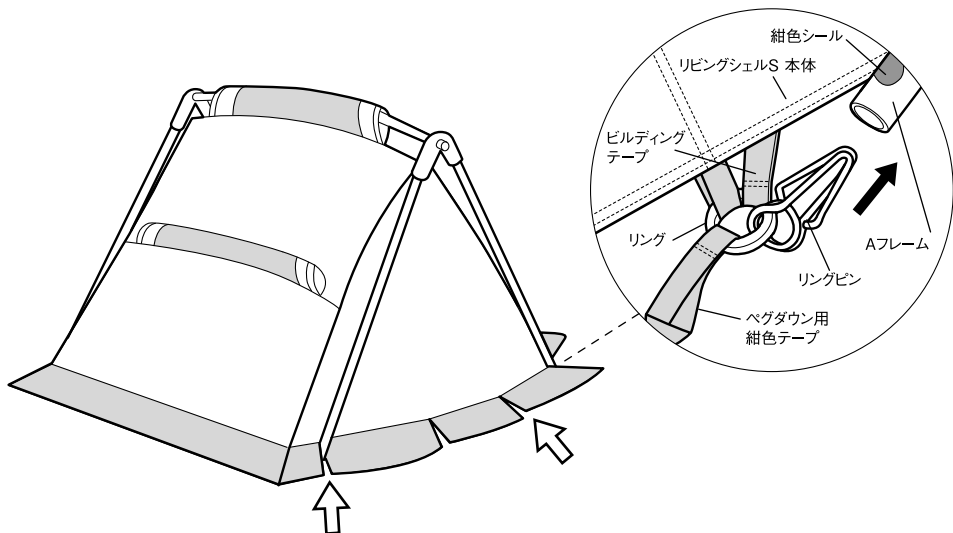
② 紺色のシールが貼られたリッジポールを本体中央の紺色のテープが付いたスリーブに通します。そしてAフレームジョイント部の紺色のシールが外側に向くように、ジョイント部にリッジポールを差し込みます。リッジポールの端がAフレームのジョイント部の最後までしっかり入ったことを確認し、センターリングをリッジポールの先端に引っ掛けます。この時点ではセンターリングのテープはテンションを掛けずに緩めておきます。反対側のAフレームも同様にリッジポールを差しこみセンターリングを引っ掛けます。

注) Aフレームを全て組み立てた状態よりも、半分の高さまででセンターリングを引っ掛けた後にAフレームを組み立てます。フレームを必要以上に持ち上げないでください。また、強い風で煽られないように注意して、風がおさまってから設営してください。斜めに荷重が掛かりAフレームやAフレームジョイント、リッジポールが破損する危険があります。

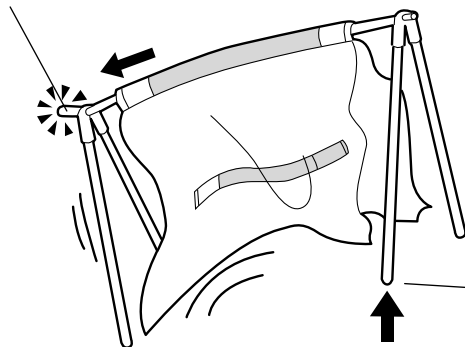


③ 本体の裾部にある紺色のテープが付いたリングピンをテープを持ちながらAフレームの先端に差し込みます。両側のセンターリングのテープのテンションを調節します。

注) リングピンをAフレーム端部に入れる時は、フレーム端部を動かないようにしっかりと持ち、指を挟まないように気をつけながら差し込みます。フレームを持ち上げると反対側に荷重が掛かり、リッジボールの端部が曲がる危険があります。リッジボールとAフレームジョイントがまわるように回転方向に持ち上げてください。

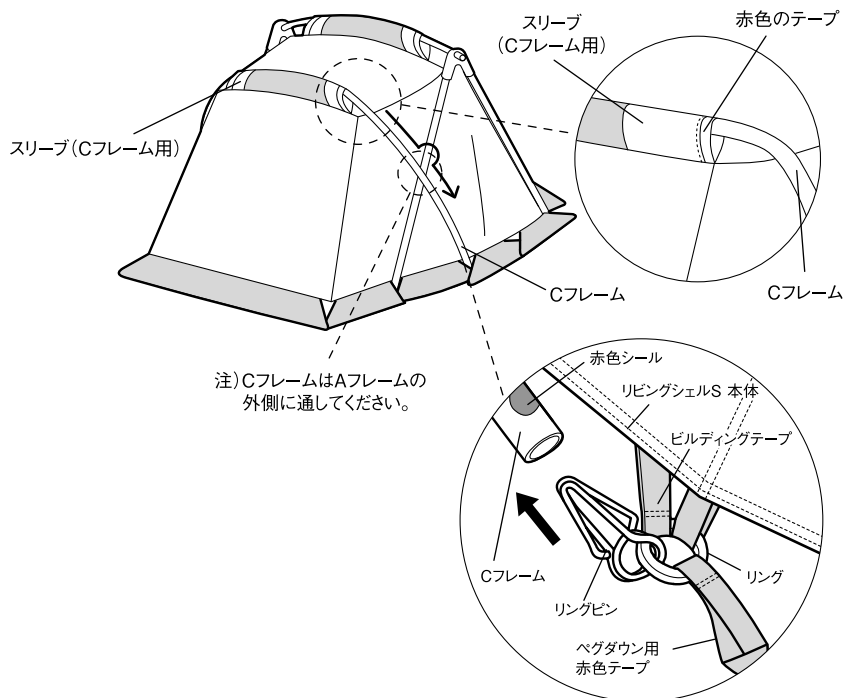


荷重が掛かり  
曲げてしまう

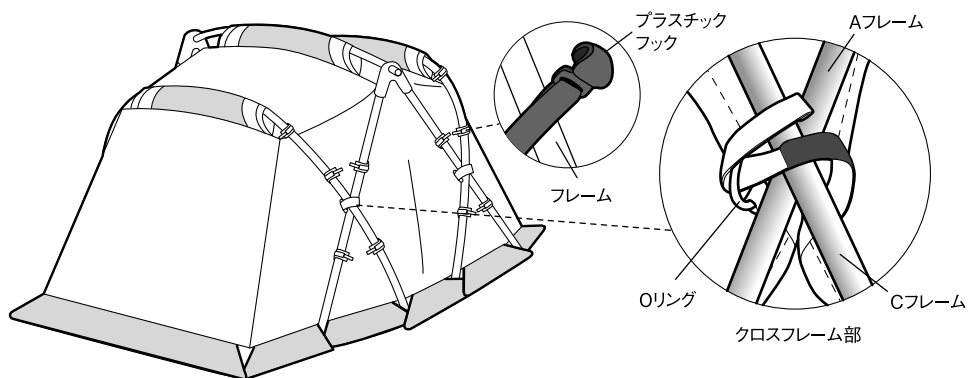


リングピンを差し込む際に矢印の様に持ち上げてしまうと、リッジボールの反対側のAフレームジョイント部に無理に荷重が掛かり曲げてしまう。

- ④ Cフレームを少しずつ継ぎながら両サイドにある赤色のテープが付いたスリーブに通していきます。次に③同様に赤色のテープが付いたリングピンをCフレームの先端に差し込みます。もう一方のCフレームも同様に立ち上げます。



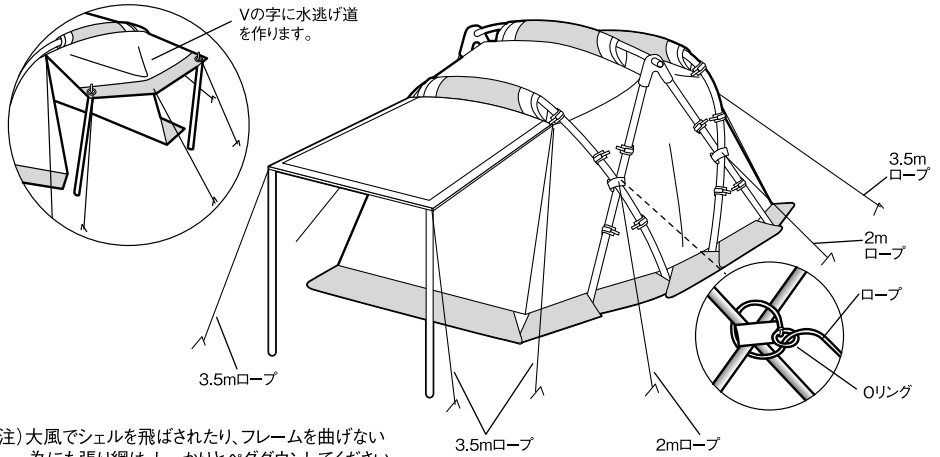
- ⑤ AフレームとCフレームに上から順々にプラスチックフックを掛けます。クロスフレーム部はベルクロ付テープをOリングに通して固定します。



- ⑥ 裾部リングピンに付いている、全てのベグダウン用テープ及びベグダウン用ゴムループにジュラルミンペグを通しベグダウンをします。出入口用ドアパネルを張り出す場合は、付属のアップライトポールを2本使い3.5mロープで立ち上げて下さい。シワが残らないようにロープの方向を調整して下さい。

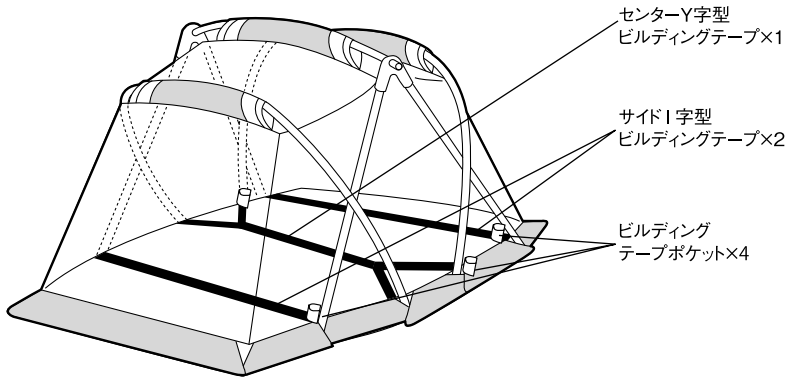
注) 貼り出したドアパネルは降雨時に水が溜まりやすくなりますのでポールを斜めに倒し勾配をつけるか、ポールを短く使い、パネル前面中央をV字にロープで下げ、雨水が溜まらないようにして下さい。

注) 強風でシェルターを飛ばされたり、フレームを破損させないためにも、しっかりとベグダウンして下さい。

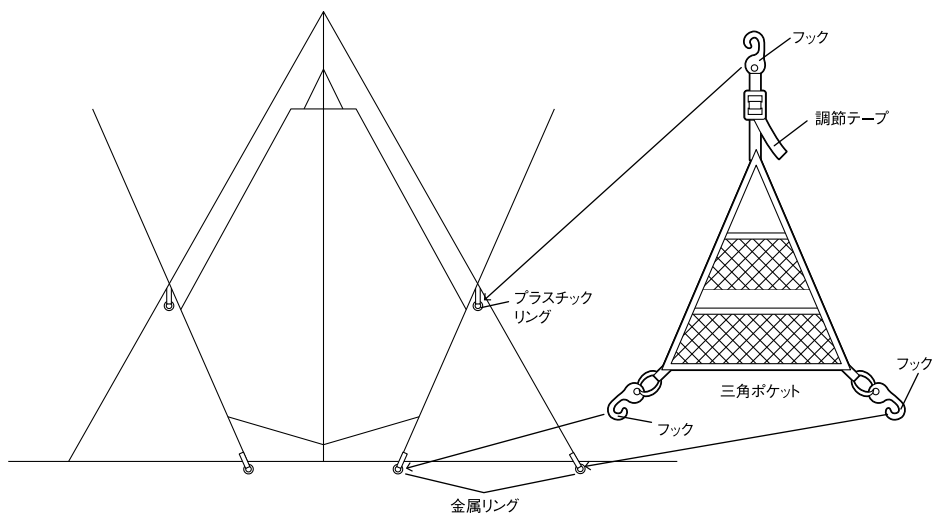


注) 大風でシェルを飛ばされたり、フレームを曲げない為にも張り綱は、しっかりとベグダウンして下さい。

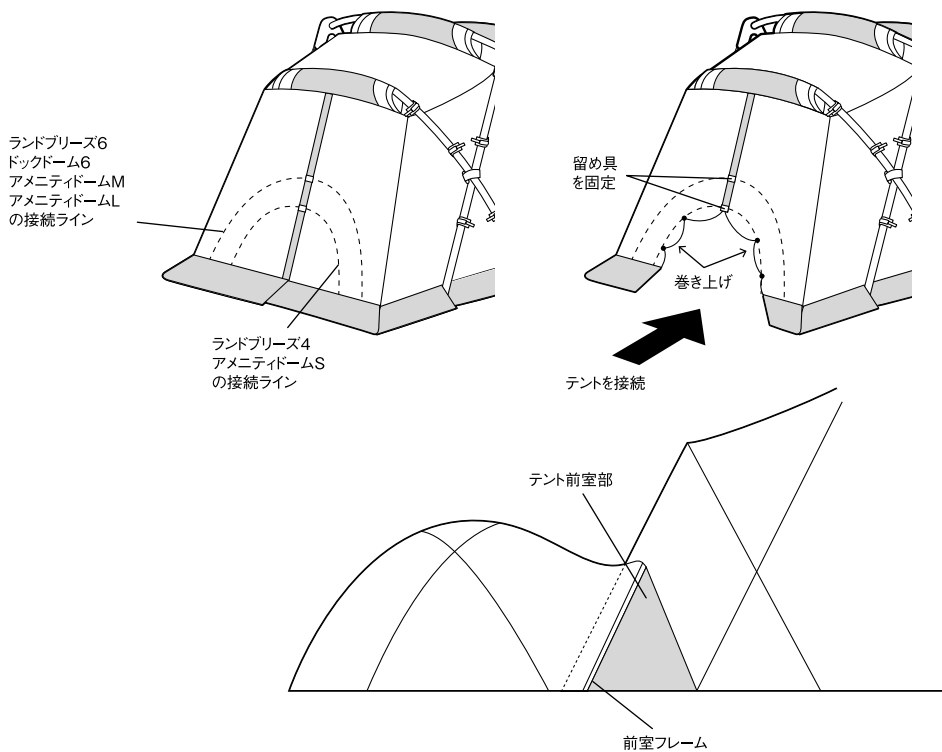
- ⑦ 必要に応じてビルディングテープのバックルをはずして下さい。設営後にビルディングテープを外す場合は、必ず室内側にベグダウンをしてテンションを室内側に向けた後にビルディングテープを外して下さい。外側にベグダウンすると、本体が広がり、撤収時にテープを再接続しにくくなります。外したビルディングテープはビルディングテープポケットに入れて下さい。



- ⑧ 必要に応じて室内側面下部にある三角パネル(4箇所)に三角ポケット(×2)をお好みの箇所へ取り付けます。



- ⑨ 後部にスノーピーク製のテントを接続することができます。お手持ちのテントの接続ラインを下図でご確認頂き、ラインに沿ってパネルを巻き上げます。開口部の内側にテントの前室フレームを入れ、接続します。



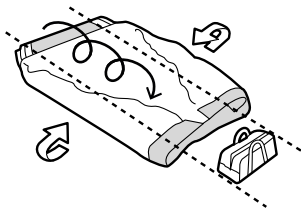


## 撤収の手順 必ず2人以上で撤収してください。

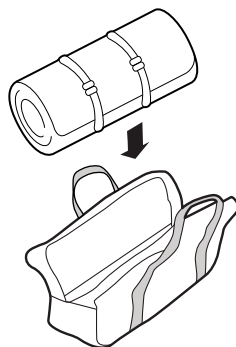
①2人でスリーブの端付近に立ち、3本のスリーブをまとめて持ち、右図のように折りたたんで地面に置いてください。



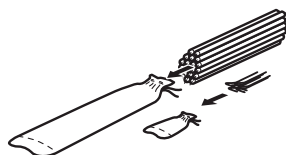
②キャリーバッグの長さにあわせて本体を内側に折りたたみます。



③本体をコンプレッションベルトで巻き絞りを、キャリーバッグに収納してください。

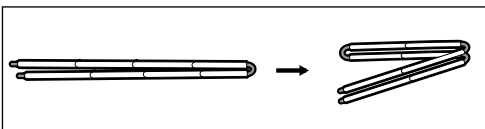


④フレームやペグはそれぞれ付属のフレームケース、ペグケースに入れ、キャリーバッグに収納してください。



## 撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールーム等を取り付けた場合や、テントを接続していた場合は、必ずインナールームやテントを本体から取り外してから撤収をはじめてください。
- シェルターの中に何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが開まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にビルディングテープのY字型とI字型のバックルを接続してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- フレームをピンから外す時は、フレームがはね返り危険です。フレームにテンションがかからなくなるまでフレームの先端をしっかり持ち、放さないでください。
- スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押し出しながら取り出してください。フレームを引きながら取り出すと、スリーブの中で連結部が外れ、生地をはさんで傷つける可能性があります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリーバッグ等を傷付けることがあります。
- 付属品の紛失、ペグの抜き忘れにご注意ください。



## 結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気を行ってください。

## 撥水・防水性能について

- 本体には高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

## 紫外線の影響について

- 本製品にはフライシートの生地にUVカット加工を施しています。  
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

## メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布しすぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布しすぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収をしてください。
- 次回の使用に備え、ロープやベグなどの付属品も含め、上記の通り十分に保守、点検をしてください。



## こんなときは

Q:キャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A:応急処置として速やかに添え木などをあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

A:傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q:撥水が衰えてきたとき

A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q:生地にカビが発生したとき

A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。

## 品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

## 修理について

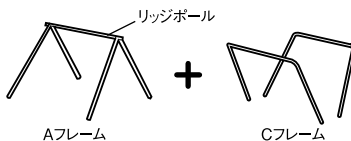
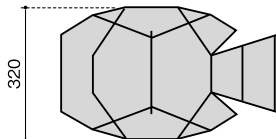
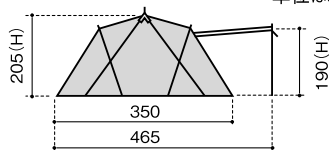
- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
  - 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
  - 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
  - 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
- 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
  - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

## スペック

### TP-240 リビングシェルS

- 材質:ルーフ部/75Dポリエステルタフタ・遮光ピグメントPUコーティング耐水圧3,000mmミニマム・UVカット加工・テフロン撥水加工、ウォール部/75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・UVカット加工・テフロン撥水加工、マッドスカート/210Dポリエステルオックス・PUコーティング、フレーム/A6061(φ16mm)
- セット内容:本体、Aフレーム(×2)、リッジポール(×1)、Cフレーム(×2)、アップライトポール(190cm×2)、ジュラルミンペグ(21cm×22)、三角ポケット(×2)、コンプレッションベルト(×2)、自在付きロープ(3.5m×6、リング付2m×4)、シームグリッパ、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース
- キャリーバッグサイズ:73×27×26(h)cm
- 重量:12kg

単位はcm



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

**スノーピークユーザーサービス**

**☎ 0120-010-660** (9:00~17:00)

Email: [userservice@snowpeak.co.jp](mailto:userservice@snowpeak.co.jp)

**株式会社スノーピーク**

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel. 0256-46-5858 Fax. 0256-46-5860

[www.snowpeak.co.jp](http://www.snowpeak.co.jp)

MADE IN CHINA